

行雲流水

No.72 令和3年7月12日発行

お寺の掲示板

校長 寒河江 正人

私は、**お寺の掲示板**が好きだ。

ついつい、「**お寺の掲示板の言葉**」に目が止まってしまう。

先日、本屋で「**お寺の掲示板**」という題名の本を見つけた。

みなさんに1つ紹介しよう。

「あんたが悪い」と指さした下の3本は、自分を向いている

鳥取県三朝町 天台宗「三佛寺」境内の掲示板より

世間は、いつからこんなに「**不寛容な**」社会になったのだろう。

新聞でも、テレビでも、インターネット上でも、**刃物のような**乱暴な言葉が踊る。

「**顔の見えない**」誹謗・中傷、責める、責める、責める・・・。

まるで「**世の中の正義**」を代表したかのように・・・。

さらに、何の考えもなく**便乗**し、**同調**する者も出てくる。

それは、誰かを**傷付け**、**苦しめる**だけで、**何も解決しない**というのに。

非難する相手に「**人差し指**」を突きつけると、

折り曲げられた**中指**、**薬指**、**小指の3本**は、どうしても自分の方を向いてしまう。

「**5本のうち、半分以上を占めるこの3本の指の存在（自分の悪い部分）**」に気付かず、

ただ「**怒り**」に任せ、我を忘れて、相手を一方的に**非難**していることはないかな？

残念ながら、恥ずかしいことだが、私はこういう時が、しばしばかもしれない。

誰にでも、「**ミスや欠点**」はある。完璧な人間は、いない。

結局、「**自分にも悪いところ・至らないところはある**」という自覚を持たなければ、

自分と相手、双方の**溝**は深まり、双方の**憎しみ**は増幅するばかりなのである。

「**お寺の掲示板の言葉**」は、風雨にさらされながらも、じっとあなたが通りかかるのを待っている。ちょっと立ち止まって、「**その言葉**」の**奥**に思いをはせてみよう。